6・SSA-N550DX(4)

警告ラベル

1

警告

この機械での一般道路走行はできません。トラック等に搭載して運搬すること。

176779

2

注意

●走行前には駐車ブレーキを解除すること。
●駐車時には、必ず駐車ブレーキを掛けること。

3

注　意

火気厳禁

軽油を使用のこと。
補給の際は必ずエンジンを停止すること。

4

警　告

ほ場以外の運転時は必ず左右ブレーキをブレーキコネクタで連結すること。

5

警告

排気ガスは、人体に有害です。室内や換気の悪い所で運転しないこと。

注意

・ノズルから薬液が噴出します。エンジンが運転中は、噴頭部に近づかないこと。
・回転物に巻き込まれるのでカバーを開けたままエンジンを始動しないこと。
・点検、整備するときは、エンジンルーム内の部品が冷えてから行うこと。

6

警告

飲料水源及び生物を飼育している湖沼からの直接給水は絶対行わないこと。

注意

薬剤の取扱い注意
使用する薬剤の取扱説明書をよく読んで正しく使用すること。

7

警告

残りの薬剤や、洗浄水は自分のほ場内で、薬害の無い様に処理すること。

洗浄液・容器の取扱い
●使用後の機体散布薬量は、十分に洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
●空容器は、安全な場所に廃棄すること。

8

警告

バッテリが破裂（爆発）する恐れがあるので、バッテリ液量が不足した状態での使用・充電はしないこと。

注意

バッテリー充電、点検調整時には必ずバッテリーコードマイナス極側を外すこと。

9

注意

安全に作業するために取扱説明書をよく読んで機械の使い方を覚えてから使用すること。

点検、調整、清掃時には必ずエンジンを停止し、キーを抜くこと。

10

注　意

1.最大積載量（薬剤タンク満水と付属品搭載）以上は積まないこと。
2.乗車定員は1名です。2名以上は乗車しないこと。
3.高速走行時（副変速時）急旋回は行わないこと。
4.走行路およびほ場への進入路の整備を行うこと。
5.作業時および傾斜地走行時の変速位置は、低速側（副変速L）とすること。
6.降坂時は必ずエンジンブレーキを併用しること。
7.運転席から離れる時は、必ずエンジンを停止しキーを抜くこと。
8.駐車時は必ず駐車ブレーキとタイヤ輪止めを併用すること。
9.危険を感じた時は、作業を中止すること。

11

注意
風圧、熱に気をつけろ。
CAUTION
DANGER, never open
When, hot

12

注意

指を切傷するのでファン、ベルトに触れないこと。

13

警　告

服装は、体にあったものを着用して下さい。保護衣・保護マスク・保護メガネ・ゴム手袋・作業靴（長靴）等を用意し、安全な服装で作業すること。

トラックへの積み・降ろし時は次のことを必ず守ること。

1.平坦地で助手の立会誘導のもとで行うこと。
2.本機の周囲に人を近づけないこと。
3.アユミ板は十分な強度と長さ、摩擦のあるすべり止め付きを使用。
4.アユミ板の傾斜角度は、15度以下のこと。
5.薬剤タンク空にて、低速で積み・降ろしを行うこと。
6.積み・降ろしの途中でエンストしたときは、すぐにブレーキペダルを踏み、その後徐々にブレーキをゆるめ道路まで降ろすこと。
7.積み込んだら、エンジンを停止し、変速レバーを中立以外に入れ、駐車ブレーキを掛け、指定の場所にロープをかけ本機を固定する。

ほ場への出入りには、次のことを必ず守ること。

1.ほ場への出入りは低速で、傾斜に対し直角に進入すること。
2.斜め進入は、転倒の危険があるため絶対に行わないこと。
3.ほ場への進入傾斜角度は15度以内とし、軟弱な場合は、小石やコンクリート等で地盤を固め進入路を整備すること。

14

ゆるめる
しめる

・ナットをゆるめる時
ナットをゆるめる時は、1回転以上まわさないでください。

・ナットをしめる時
ナットをしめる時は、規定が回転するまでしめこんでください

送風機風量調節手順

1. エンジンを停止し、キーを抜く。
2. 送風クラッチをONにする。
3. 調節レバーを十字穴に差し込み、固定用ナットをゆるめる。
4. 調節リングの穴にレバーを差し込み回転させ、調節リングの目盛りを所定の位置に合わせる。
5. 位置が決まったら、固定ナットをしめる。
6. 送風機クラッチをOFFにする。

注　意

調節リングの確認

風量調節終了後、次のことを必ず行うこと。

1. 送風機クラッチが、OFFになっているか確認する。
2. 調節レバーを開いて、ファンをゆっくり回しながら、ボルトと調節リングのあわせ目が、ずれていないか全周にわたって確認する。
3. もちっとはまり込んでいない場合は、風量調節を最初からやり直すこと。

風量調節時に、固定用ナットは、1回転以上ゆるめないこと。